

豊明市行政評価制度 「施策」 評価票

施策評価票番号	19
---------	----

1 ■ 施策の概要

1 - 1 施策の名称	地域医療				基本施策コード	2—1—4
1 - 2 担当	部	健康福祉部	課 又は施設	医療健康課	評価票作成者	課長 原田 昇
1 - 3 総合計画における施策の体系	節	保健福祉「健康で安心して暮らせるふれあい・支えあいのまちづくり				
	項	健康				
1 - 4 施策の目的	日常的な健康管理の医療サービスから高度な医療サービスまでを市内で安心して受けられ、急病や災害発生時であっても適切な医療が受けられる体制を整える。また、外国人も安心して医療が受けられる社会環境を整える。					

	平成 2 2 年度評価 （前期の成果）	平成 2 7 年度評価 （全期間の成果）
担当課評価	A	
総合評価	A	

- 施策評価の判定基準
A ： 施策の目的を効果的に達成しているので継続する
B ： 施策推進の実施手法等に改善の必要がある

1 - 5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名		前期（平成 1 8 年度～平成 2 2 年度）			全期間（平成 2 3 年度～平成 2 7 年度）			指標の定義
			目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（％）	目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（％）	
		市内の医療サービスに対する満足度	7 5 . 0（％）	8 2 . 6（％）	1 1 0 . 1（％）	7 6 . 0（％）			

2 ■ 施策の担当課による評価結果

評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
	平成18年度	市内のどこに住んでいても受診できるよう地域医療体制を作る必要がある。また、外国人の受診しやすい環境が必要になっている。災害発生時の医療機関との連携づくりが市民のいのちや健康を守るため必要である。	日常的な健康管理を行う地域医療体制を作ること重点を置き、急病や災害発生時においても適切な医療が受けられる体制を作る。	医療機関による健診でかかりつけ医療を促し、外国人向けの医療機関用のパンフレットの充実を図った。
	平成19年度	〃	〃	外国人向けの冊子等作成し、健診時の不安解消を図った。また、市や県の防災計画等にのっとり、健康課としての保健活動マニュアルを作成した。
	平成20年度	〃	〃	外国人向けの冊子等作成し、健診時の不安解消を図った。また、市や県の防災計画等に整合した、健康課としての保健活動マニュアルの見直しを検討した。
	平成21年度	〃	〃	健康課としての保健活動マニュアルの見直しを検討した。
	平成22年度	歯科医師会と災害時の課題や対応について協議を行った。		
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

3 ■ 参考情報

[illegible]